



OWNER'S MANUAL

Panaray® System Digital Controller II

PSDC II (パナレーシステムデジタルコントローラー II)

取扱説明書

この度は Panaray® System Digital Controller II をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。



※説明の便宜上、イラストは実物と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

警告



内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜くそのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。



変なおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜くそのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



電源コードや電源プラグが傷んだ場合は交換する

電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。



落したり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜くそのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。

●設置、保管するとき

警告



水の近くまたは湿度の高い場所で使用しない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。



通風孔をふさがない

布をかぶせたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、通気が不十分な狭いスペースに押し込んだりしないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因となります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、発熱による感電や火災の原因となります。また、ほこりがたまり易くなったり、プラグの金属部分に触れる危険性があります。



電源コードを傷付けない

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。特に、電源プラグ部分やコードが本体から出ている部分はお気を付けください。



電源コードは付属の専用品を使用する

専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因となります。また、本機の専用電源コードを他の機器に使うこともお止めください。



タコ足配線をしない

コンセントや配線器具に同時に多数の機器を接続して電源を取ると、コードなどが過熱し、火災の原因となります。



アース（接地）を確実に行う

万一漏電した場合、感電する原因となります。アース工事につきましては、販売店にご相談ください。

●設置、保管するとき

警告



火災や感電の危険性を低減するために、機器を雨や湿気にさらさない



機器内部に水をたらしたり、かけたり、花びんのように水を満たしたものをそばに置かない
他の電気製品と同様に、機器内部に水分をこぼしたりしないでください。故障や火災の原因となります。



本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない

通風孔などから内部に落下した場合、火災や感電の原因となります。



風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。



交流 100 ボルトの電源を使用する

海外などで、表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災や感電の原因となります。



電源プラグは、抜きやすい位置にあるコンセントに接続する

万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。



電源コンセントの定格電流値を超える接続をしない

過大な電流が流れ、火災や感電の原因となります。

注意



高温の場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置・保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。



ケーブルの芯線は全てしっかりと撚りを掛けた上で、確実にコネクター内へ結線する

撚り線の一本が外れるなどして隣り合った端子に接触すると、ショート事故が起こる危険性があります。



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときに、電源コードを引っ張らない

電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



移動させる場合は、電源コードその他の接続線を外す

電源コードに無理な力が加わって傷付き、火災や感電の原因となることがあります。また他の接続線が引っかかり、けがの原因となることがあります。

●使用するとき

	警告
	不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。
	雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れない 感電の原因となります。
	本体のカバーを外したり、分解や改造をしない 火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。
	機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない 引火して火災の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。

	注意
	長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く 本機は電源を切った状態でも、常に微弱な電流が流れています。長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
	必ず実行 本機をラックに設置した状態でラックごと移送する場合は、本機の背面部分を物理的に固定する 棚板やサポートアングル金具等を使用して本機をラック内に固定することをお勧めします。
	必ず実行 定期的に内部の掃除をする 5年に一度程度を目安に、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら長時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
	禁止 上に重い物を置かない 倒れたり、落下した場合、けがの原因となることがあります。

●使用するとき

	注意
	必ず実行 電源プラグやコンセント部の掃除をする 電源プラグを差しあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
	配線時は電源プラグをコンセントから抜く 電源プラグをコンセントに差したまま行くと、感電の原因となることがあります。
	禁止 長時間音が歪んだ状態で使用しない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	必ず実行 電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
	必ず実行 お手入れの時は電源プラグをコンセントから抜く 安全のため、お手入れは電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。

●その他

全般的な注意事項

- ・ 熱を避け、十分な通気がある場所に設置してください。暖房器具や放熱器などの直接的な熱源から離してください。本体の背面や側面、上面で空気が十分に循環することをご確認ください。ラック内は屋内環境と比較して高温となりますので、ご注意ください。

●お手入れについて

- ・ 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。科学そうきんなどをお使いになる場合は、その注意書きもご参照ください。



CAUTION
RISK OF ELECTRICAL SHOCK
DO NOT OPEN



CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK,
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED PERSONNEL.



警告
感電事故の危険あり
絶対に開けないでください



ご注意: お客様が修理できる部品は、製品内部にはございませんので、感電事故防止のため、本体や背面/パネルは絶対に開けないでください。修理が必要な場合は、お買上になったお店かボーズ株式会社までご連絡ください。

製品に左のような安全に関する表示があります。表示内容は左下の日本語をご参照ください。



正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に警告するものです。



正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、この取扱説明書の中で、取り扱い上およびメンテナンス上、重要な項目であることをお客様に警告するものです。

本機は、FCC 基準 Part15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じる有害な電波障害を適切に防止するために制定されたものです。本機器は無線周波数エネルギーを生成、使用し、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わない場合、無線通信に障害を起すことがあります。しかし、特定の設置状況において電波障害を起こさないことを保証するものではありません。本機器の電源を入切する事によって、本機がラジオやテレビの受信に障害を与えていると判断された場合、以下の方法にて障害が解消されるかをお試しください。

- ・ 受信アンテナの方向や設置場所を変更する。
- ・ 本機器と受信機の距離を遠ざける。
- ・ 本機器を受信機と別系統の電源回路に接続する。
- ・ 必要に応じて、販売店または経験のある無線/テレビの専門技術者に相談する。

注意：無認可の無線受信機や無線操作機器の使用および改造は、ユーザーによる本機の操作を制限することがあります。

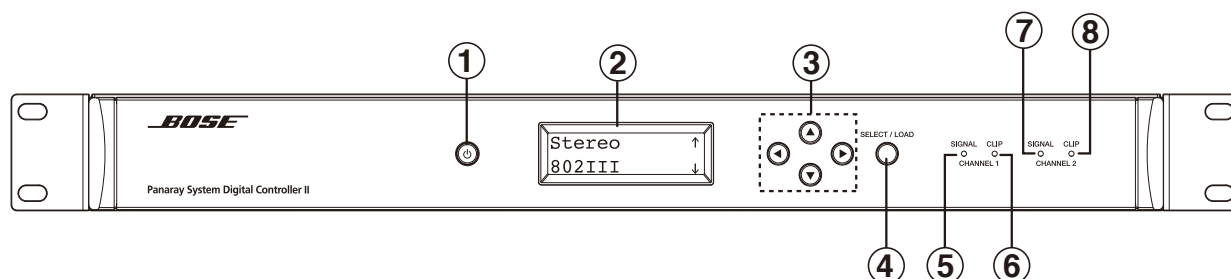
本製品は、カナダの ICES-003 Class B 仕様に準拠しています。



本製品は、EMC 指令 89/336/EEC および Low Voltage Directive (LVD) 73/23/EEC に準拠しています。適合申請書は <www.bose.com> にてご参照いただけます。

本取扱説明書にて提供される情報は、設計、製造、あるいは機器のバージョンによる詳細事項を含んでいません。また、設置、操作、保守の実施時に発生が想像されるあらゆる状況を反映していません。本取扱説明書の内容の範囲を超えたものについてご不明な点がある場合は、弊社までお問い合わせください。

前面パネル



①電源キー

電源をOn/Offします。

②表示部

2行x16文字の液晶画面にプリセット名、パラメーター名、操作モード毎の値が表示されます。

③▲、▼、◀、▶（上、下、左、右）キー

項目を選択するときに使用します。

④SELECT/LOADキー

希望するプリセットを確定させます。また、長く押し続けることで（約3秒）、ユーティリティーモードになり、レベル、システムパラメーターなどが変更できます。

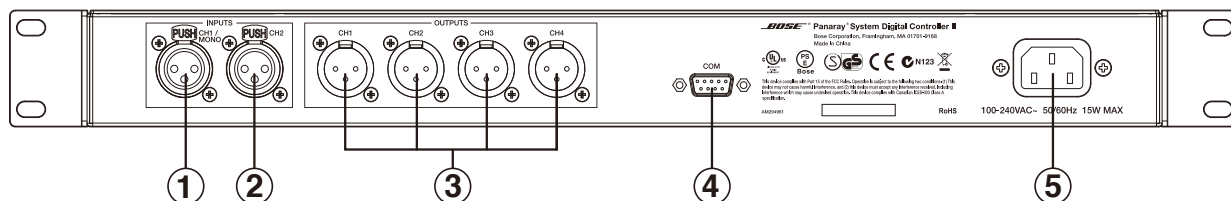
⑤⑥チャンネル1の入力インジケーター

入力があると緑に点灯し、入力信号がクリップすると赤く点灯します。

⑦⑧チャンネル2の入力インジケーター

入力があると緑に点灯し、入力信号がクリップすると赤く点灯します。

背面パネル



①入力：チャンネル1／モノラル

バランスXLR入力(CH1)。

②入力：チャンネル2

バランスXLR入力(CH2)。

③出力：チャンネル1～4

バランスXLR出力×4(CH1、2、3、4)。

④コミュニケーションポート

RS232端子。将来ソフトウェアをアップデートしたり、新たなボーズスピーカーのEQデータを追加するときにメーカーで使います(お客様はご使用になれません)。

⑤電源入力

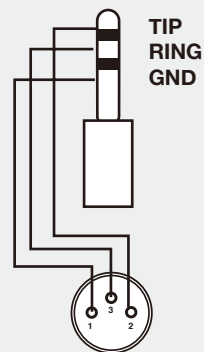
100～240V(50/60Hz)AC入力

Jack (balanced) - XLR

Sleeve - Pin 1 (Ground)

Tip - Pin 2 (Hot)

Ring - Pin 3 (Cold)



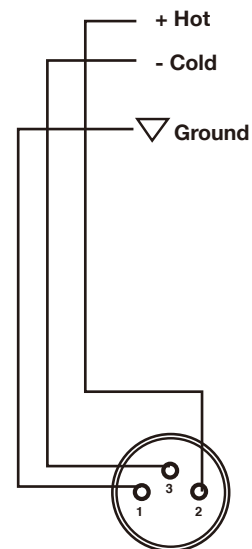
XLR Wiring

Jack (balanced) - XLR

Sleeve - Pin 1 (Ground)

Tip - Pin 2 (Hot)

Ring - Pin 3 (Cold)



ユーティリティモード

「SELECT/LOAD」キーを3秒間押すと、「Entering... Utility Mode」と表示され、ユーティリティモードになります。その状態で、下記項目のパラメーターの調整ができるようになります。上、下（▲、▼）キーで項目を選び、左、右（◀、▶）キーでパラメーターの内容を選択します。調整が終了したら、「SELECT/LOAD」キーを押してユーティリティモードを終了させます。

パラメーターの定義：

●Input Sense（入力感度）

CH1、CH2の入力感度を設定します。

パラメーター範囲：0dBu、6dBu、12dBu、18dBu

初期設定値：0dBu（unity）

●Output Range（出力レンジ）

本機からの最大出力レベルを調整できます。他の機器の入力レベルと整合を取るためにこのパラメーターを使用します。

パラメーター範囲：0dBu、6dBu、12dBu、18dBu

初期設定値：18dBu（unity）

●Output Level（出力レベル）

出力1、2、3、4の総合レベルをコントロールします。

パラメーター範囲：Off、-60～0dB（1dB単位で可変）

初期設定値：0dB

●Limiter（リミッター機能）

本機はリミッターを装備しています。リミッター機能はどのプリセット内容のときでも自由に使用することができます。リミッター機能は、過大な入力があった時にスピーカーシステム等を保護するために使用します。

初期設定：Off

●Bass Mode

ステレオプリセット時の低域信号に関係する設定です。通常Stereoに設定されており、中高域、低域とも信号はステレオで送られます。Mono Sumに設定すると、中高域信号はステレオのまま、低域信号だけをモノラルに合成します（8ページ参照）。

初期設定値：Stereo

●User Lockout（ユーザーロックアウト）

ユーザーロックアウト機能は、設定されているスピーカーEQプリセットや関連のパラメーターをむやみに変更されないようにする機能です。

初期設定：Off

ユーザーロックアウト 設定／解除方法

設定方法

ユーティリティモードに入り、上、下（▲、▼）キーを押して「User Locked」と表示させます。左、右（◀、▶）キーのいずれかを押すと「Are you sure?/Lockout On」と表示されますので、「SELECT/LOAD」キーを押します。「Lockout On/No Access」と表示され、電源以外のキーの操作はできなくなります。

解除方法

いずれかの設定が表示されている時、上、下（▲、▼）キーを同時に5秒以上押し続けると「Locked Off/No Access」と表示され、ロックを解除することができます。

スピーカーEQプリセットの設定

フロントパネルからプリセットを呼び出すには：

1. 左、右キーを使って使い方の種類 (Mono、Stereo、Bass Array) を選んでください。
2. 上、下キーを使って希望のプリセットを選んでください。
名称の前に*が表示されている場合は、まだその設定にはなっていません。
3. 希望するプリセットが表示されているときにSELECT/LOADキーを押してプリセットを確定します。
(この時点で*が付いていない事が確認できれば、呼び出し、確定が完了となります)

ステレオプリセットバンク：ステレオモード用プリセット

例1：フルレンジ：ステレオ

表示部

Stereo ↑
802III ↓

Preset 内容

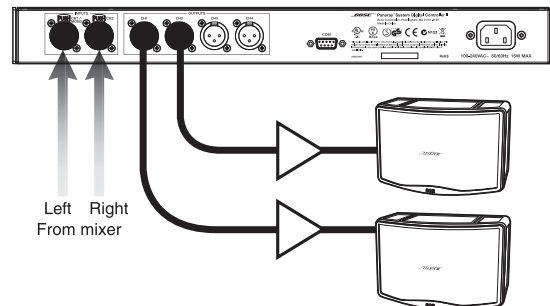
802-III Speaker Stereo Full Range

Controller Inputs

CH 1/Mono Left from mixer
CH 2 Right from mixer

Controller Default Output Routing

	Ch 1	Ch 2	Ch 3	Ch 4
Routing	802-III Left (Full range)	802-III Right (Full range)	802-III Left (Full range)	802-III Right (Full range)



例2：中高域：ステレオ、低域：ステレオ

表示部

Stereo ↑
802III+MB ↓

Preset 内容

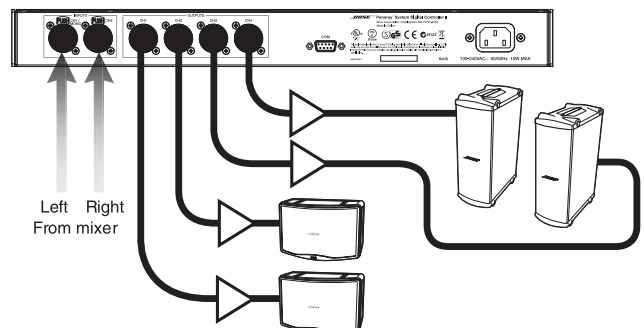
802-III Speaker Stereo with MB4 Speaker Stereo Bass

Controller Inputs

CH 1/Mono Left from mixer
CH 2 Right from mixer

Controller Default Output Routing

	Ch 1	Ch 2	Ch 3	Ch 4
Routing	802-III Left (High freq)	802-III Right (High freq)	MB4 Left (Low freq)	MB4 Right (Low freq)



スピーカーEQプリセットの設定

例3：中高域：ステレオ、低域：モノラル

初期設定ではこのモードに対応していません。6ページ(ユーティリティーモード)参照の上、Bass Modeの設定をMono Sumにセットしてください。中高域信号はステレオ信号のままで低域信号だけをモノラルに合成します。

表示部

Stereo	↑
402II+MB	↓

Preset 内容

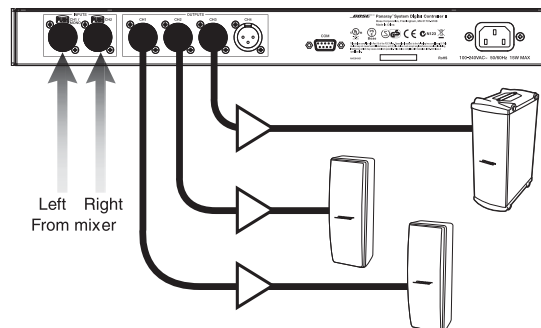
402-II Speaker Stereo with MB4 Speaker Mono

Controller Inputs

CH 1/Mono	Left from mixer
CH 2	Right from mixer

Controller Default Output Routing

	Ch 1	Ch 2	Ch 3	Ch 4
Routing	402-II Left (High freq)	402-II Right (High freq)	MB4 Mono (Low freq)	MB4 Mono (Low freq)



スピーカーEQプリセットの設定

モノラルプリセットバンク:モノラルモード用プリセット

例1:フルレンジ:モノラル

表示部

Mono	↑
402II	↓

Preset 内容

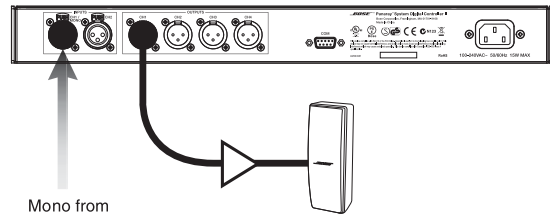
402-II Speaker Mono Full Range

Controller Inputs

CH 1/Mono	Mono from mixer
CH 2	No input

Controller Default Output Routing

	Ch 1	Ch 2	Ch 3	Ch 4
Routing	402-II Mono (Full range)	402-II Mono (Full range)	402-II Mono (Full range)	402-II Mono (Full range)



例2:中高域:モノラル、低域:モノラル

表示部

Mono	↑
502A+502B	↓

Preset 内容

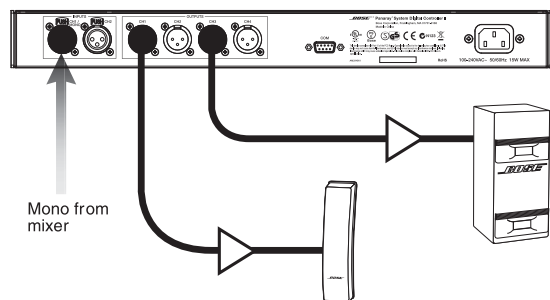
502A Speaker Mono with 502B Speaker Mono

Controller Inputs

CH 1/Mono	Mono from mixer
CH 2	No input

Controller Default Output Routing

	Ch 1	Ch 2	Ch 3	Ch 4
Routing	502A Mono (High freq)	502A Mono (High freq)	502B Mono (Low freq)	502B Mono (Low freq)



スピーカーEQプリセットの設定

ベースアレイプリセットバンク:ベースアレイモード用プリセット

例1:MB4を2本使用したエンドファイヤーベースアレイ

表示部

Bass Array ↑
MB4 2XEF180Hz↓

Preset 内容

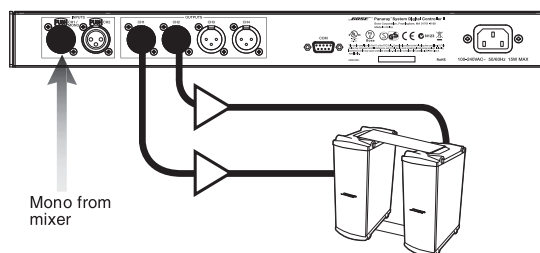
MB4 2X Endfire Bass Array

Controller Inputs

CH 1/Mono Mono from mixer
CH 2 No input

Controller Default Output Routing

	Ch 1	Ch 2	Ch 3	Ch 4
Routing	MB4 (1) Mono	MB4 (2) Mono	N/A	N/A
Delay	On	On	Off	Off



例2:MB4を4本使用したエンドファイヤーベースアレイ

表示部

Bass Array ↑
MB4 4XEF180Hz↓

Preset 内容

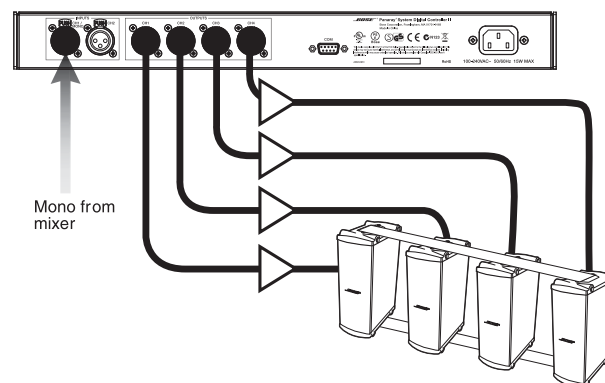
MB4 2X Endfire Bass Array

Controller Inputs

CH 1/Mono Mono from mixer
CH 2 No input

Controller Default Output Routing

	Ch 1	Ch 2	Ch 3	Ch 4
Routing	MB4 (1) Mono	MB4 (2) Mono	MB4 (3) Mono	MB4 (4) Mono
Delay	On	On	On	On



ボーズスピーカー専用EQプリセットリスト *Version 1.49*

Mono and Stereo Banks

Panaray 402 Series II Presets

402II
402II+502B
402II+502BEX
402II+MB
402II HF

Panaray 502A Presets

502A
502A+502B
502A+MB
502A HF

Panaray 802 Series III Presets

802III
802III+502B
802III+502BEX
802III+MB
802III HF
802IIISTK
802IIIST+502B
802IIIST+502X
802IIISTK+MB
802IIISTK HF

Panaray MA12/MA12EX Presets

MA12 WALL
MA12 FREE
MA12+502B
MA12+MB
MA12 HF
MA12STK WALL
MA12STK FREE
MA12STK+502B
MA12STK+MB
MA12STK HF
MA12EX
MA12EX FREE
MA12EX+502B
MA12EX+MB

MA12EXSTK
MA12EXST FREE
MA12EXST+502B
MA12EXSTK+MB

Panaray MB4/12/24 Presets

MB 100Hz LP
MB 160Hz LP
MB 200Hz LP
MB 250Hz LP
MB4 280Hz LP (For MB4 only)

Panaray 502B Presets

502B

Panaray 502BEX Presets

502BEX

Panaray LT9403 Presets

LT9403
LT9403 BIAMP
LT9403+MB

Panaray LT6403 Presets

LT6403
LT6403 BIAMP
LT6403+MB

Panaray LT9400 Presets

LT9400
LT9400+MB

Panaray LT6400 Presets

LT6400
LT6400+MB

Panaray LT3202-III Presets

LT3202
LT3202+MB
LT3202+502BEX

Panaray LT4402-III Presets

LT4402
LT4402+MB
LT4402+502BEX

Panaray LT9402-III Presets

LT9402
LT9402+MB
LT9402+502BEX

Panaray LT9702-III Presets

LT9702
LT9702+MB
LT9702+502BEX

FreeSpace Model 16 Presets

M16
M16+FS3B

FreeSpace DS Presets

DS16S/SE
DS16F P
DS40F/SE
DS40F P
DS100F/SE
DS100F P

FreeSpace Model 32 Presets

M32
M32+MB
M32+FS3
M32+FS1B
M32+502BEX

FreeSpace 3 Bass Presets

FS3 100Hz LP
FS3 150Hz LP

Bass Array Bank

Bass Array Presets

MB4 2xEF 280Hz	MB4 4xEF 180Hz
MB4 2xEF 180Hz	MB12/24 2xEF
MB4 4xEF 280Hz	MB12/24 4xEF

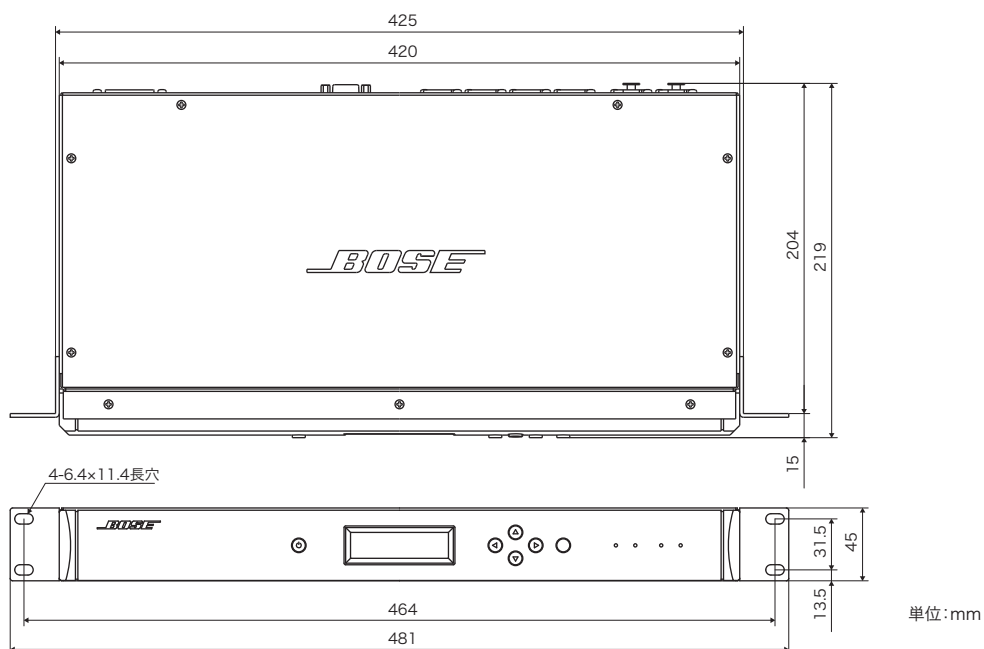
仕 様

入 力 アナログ 2ch(バランス)XLR-3-31 相当
 入力インピーダンス 2.21kΩ@1kHz
 最大入力レベル +18dBu
 感 度 @full scale 選択式 0/+6/+12/+18dBu

出 力 アナログ 4ch(バランス)XLR-3-32 相当
 出力インピーダンス 200Ω
 最大出力レベル +18dBu(バランス)
 出 力 レンジ 選択式 0/+6/+12/+18dBu(バランス)
 入 力 極 性 ピン1 (E)、ピン2 (+)、ピン3 (-)
 サンプル周波数 44.1kHz
 信 号 遅 延 1.52ms
 ダイナミックレンジ 103dB
 全高調波歪率 0.003%

周波数特性 20Hz～20kHz(+0/-1dB)
 クロストーク 100dB
 コミュニケーション端子 RS232C(ソフトウェア・アップデート専用)
 インジケータ 緑色：信号入力時、赤色：クリップ
 電 源 電 圧 100～240VAC, 50/60Hz(自動選択)
 消 費 電 力 15W
 環 境 要 因 動作温度：0℃～40℃
 保管温度：-20℃～50℃
 湿度：95%(相対湿度)
 外 形 寸 法 481(W)×219(D)×45(H)mm
 質 量 2.7kg

寸法図



保 証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター

お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

ボーズ株式会社 <http://www.bose.co.jp/>

〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル

BOSE
Better sound through research®

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 弊社取扱以外の製品は、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。